

明日の
とりでを
考える



ひ
こ
ば
え

「薬」とは伐(き)った草木の根株から出た芽のことです。草木の根元から力強く萌え出る姿に、市民の皆さんと共に築いていく「明日のとりで」への思いを託しました。

目次

総合型地域スポーツクラブで交流	P1 ~ 5
クラブ代表に聞く	P2
取手東部わいわいスポーツクラブ	P3
取手セントラルクラブ	P4
とりで西部ふれあいクラブ	P5
新春健康マラソン大会開催	P6
チャレンジデー開催	P7
ボックスヒルに移転 とりでアートギャラリー	P8

発行/取手市 編集/広報広聴課
〒302-8585茨城県取手市寺田5139
TEL 0297-74-2141 内線1141 FAX 73-5995
ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
携帯端末用アドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/mob/>
電子メールアドレス info@city.toride.ibaraki.jp



ホームページ

総合型地域スポーツクラブで交流



市は気軽にスポーツに親しむ環境づくりを進めており、総合型地域スポーツクラブや市体育協会との連携を図っています。今回紹介する総合型地域スポーツクラブは、市内に3クラブある、地域の皆さんが自主的に運営する非営利の団体です。写真は昨年6月に取手緑地運動公園で行われた合同交流会の様子です。



気軽に運動できる

総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブでは、幅広い世代の人々が、気軽に自分の興味・関心、競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツを楽しんでいます。市内にある「取手東部わいわいスポーツクラブ」「取手セントラルクラブ」「とりで西部ふれあいクラブ」の魅力をお知らせします。



クラブ代表に聞く

市内の総合型地域スポーツクラブは、どういった経緯で設立されたのですか。

上江洲氏（とりで西部ふれあいクラブ理事長） 文部科学省の施策として、地域に総合型スポーツクラブを設置することになり、平成7年から全国的な育成が始まりました。市内でも、有志で先進地への視察や研修を行い、大学の先生などにも指導をいただきました。そして、平成17、18年の準備期間を経て19年3月に3クラブを設立しました。

なぜ3クラブになったのですか。
広木氏（取手セントラルクラブ理事長） 当時、PTA連絡協議会が3地区あったこと、誰もが利用できる地域のクラブにしたいとの考えから3地区に計画しました。各地区ごとにマネージャーが必要と分かり、私たちが講習を受け資格を取りました。行政主導ではなく、市民中心の受益者負担のクラブをつくりたいとの思いで頑張ったことを覚えています。

最近の活動の特徴は。

延原氏（取手東部わいわいスポーツクラブ理事長） 最近、スポーツの枠にとどまらずに活動の幅を広げています。例えば、放課後子ども

クラブの学習アドバイザーを務めたり、地域のイベントにも積極的に参加して交流を深めています。高齢者の健康と体力維持のための種目も取り入れ、笑い声が絶えず、満足感を味わっています。

今後の課題はありますか。

上江洲氏 誕生から10年が経過し、会員の年齢が高くなる傾向にあります。今後は一層若い人の参加を促していきます。同時に、活動を支えてくれる人材の確保も課題といえます。この10年間支えていただいた皆さんに感謝しつつ、今後も楽しんでもらえるクラブを目指していきます。



共通のスローガンを掲げる代表者（左から）
取手東部わいわいスポーツクラブ 延原正勝理事長
取手セントラルクラブ 広木麗子理事長
とりで西部ふれあいクラブ 上江洲朝彦理事長

ここがポイント

注目の活動を紹介
合同イベントが盛ん



花見と野外パーティー

地域のイベントに参加

地域の方、他教室の会員と知り合う機会となっています。売り上げは活動資金に。



井野団地ふれあい祭りに出店



新春健康マラソン大会に出店

放課後子どもクラブに出張

地域の子どもクラブにスタッフを派遣しています。



餅つき大会

取手東部わいわいスポーツクラブ

皆でつくる・皆のためのスポーツクラブ

当クラブは市の東部（JR常磐線東側）で旧井野小学校を拠点とし、地域の皆さんと仲良くスポーツや文化活動を行い地域の活性化に努めています。現在300人の会員がいます。会員はいつでも好きな教室に参加でき、仲間とコミュニケーションを楽しんでいます。

取手東小学校に向き、体力づくりの後ソーマン流しを楽しんだり、地域のお祭りなどで、焼きそばやかき氷の屋台を出して祭りを盛り上げるなど、地域との交流も盛んなクラブです。



問い合わせ先：クラブマネージャー 横田信次郎
☎090-5583-2662
HP <http://torideyclub.com>

活動場所：国道6号より東部の公共施設、取手緑地運動公園など

活動種目：グラウンドゴルフ、ラージボール卓球、バドミントン、バウンドテニス、武術太極拳、ソフトボール、ココロア健康体操、健康マージャン、ゴルフ同好会、バスウォーキングなど



ホームページ

おすすめ!

クラブで素晴らしい時間

当クラブのラージボール卓球教室は90人以上が在籍しています。皆さんと素晴らしい時間を過ごしていると感じています。ここで楽しむことで長生きできそうです。



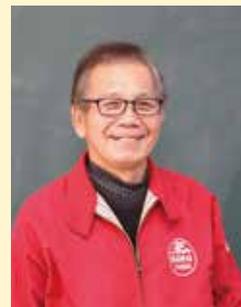
ラージボール卓球教室の皆さん

マネージャーから

地域交流が盛ん

4教室80人でスタートし、現在は8教室300人の会員が在籍しています。

クラブハウス整備や指導者の育成を図り、会員の健康と心の安心を創るクラブに成長したいと願っています。運動はもちろん、地域との交流が盛んです。お気軽にお問い合わせください。



横田信次郎マネージャー

ここがポイント

注目の活動を紹介

プラチナ健康教室

認知症・介護予防に効果があるさまざまなプログラムを、専門の講師が分かりやすく指導します。



鍵盤ハーモニカ



けんこう吹き矢

おすすめします！



ソフト剣チャンバラ

専門講師による本格的なチャンバラが楽しめます！



ウォーキング

土曜日にはウォーキングを楽しんでいます！



菜園「ケサラ」

各種目の会員が集う菜園。作り、収穫する喜びを味わっています！



プラチナ健康教室（ヘルシーダンス）

取手セントラルクラブ

多世代にわたりみんなで楽しむ優しいクラブ

当クラブは、市民のコミュニケーションの場として設立され、これまでに健康増進メニューを数多く提供してきました。これからも、お年寄りや主婦の皆さんはもちろん、お子さん、若者、そして、一番健康に留意してほしい働き盛りの方が楽しめるメニューを取りそろえています。
今年も4月から各種スポーツ教室の募集を開始します。地域の皆さんの健康とコミュニケーションづくりのために、指導員一同張り切っています。取手セントラルクラブにどうぞご期待ください。



問い合わせ先：クラブマネージャー 杉浦充

☎090-2772-2900

HP <http://www.toridecentral.com/>

活動場所：東は国道6号、西は白山・新町までの公共施設、藤代庁舎など

活動種目：プラチナ健康教室、硬式テニス、太極拳、ウォーキング、グラウンドゴルフ、複合3種（バドミントン、パドルテニス、ラージボール卓球）、ストレッチ&ロコモ体操、ソフト剣チャンバラ、社交ダンス、健康マージャン、菜園「ケサラ」



ホームページ

おすすめ!

プラチナ健康教室

認知症・介護予防に効果がある鍵盤ハーモニカ、ヘルシーダンス、けんこう吹き矢、笑いヨガがセットになった教室です。

私が担当する鍵盤ハーモニカは、指の運動と息を吐くことで脳や肺を刺激、介護予防に効果的。参加した皆さんは毎回笑顔になって帰られます。



平川昭子講師
(生涯学習音楽指導員)

マネージャーから

充実の環境

藤代スポーツセンターピクニック広場の傾斜を利用したグラウンドゴルフ、藤代庁舎のけんこう吹き矢など、充実の環境で競技を楽しめます。また、ソフト剣チャンバラは、小学生から大人まで楽しめる気軽さと、剣道の足さばきにも通じる本格的なもの。ぜひ体験を。



杉浦充マネージャー

ここがポイント

注目の活動を紹介 子供向け教室が充実



いろいろな球技（さまざまなボール競技体験のチャンス）



ゴールデンキッズ（マット、鉄棒、トランポリン、スポーツ鬼ごっこなど）

出前教室も開催



カローリング（カーリングの室内版。誰でもでき、対抗戦で盛り上がり）



らくらく体操（ボール、タオル、ミュージックベルなどで楽しく継続）



トランポリン教室（火・日曜の2コース）

動かせ心・つなげ人・地域の輪になる

とりで西部ふれあいクラブ

当クラブは、新取手から西の公共施設を会場として14種目の定例教室、地域団体との連携による健康増進活動などを行い地域の活性化に努めています。定例教室の会員は現在約230人で、年齢構成は、小学生が23%、60歳以上が60%です。

親子や三世代で参加し声を掛け合う場面や、複数の種目に参加し楽しみながら体調管理をするなど、総合型ならではの会員が最近特に目立ってきました。クラブの運営は会員で話し合い、総意で進めています。皆さんの参加をお待ちしています。



問い合わせ先：クラブマネージャー 中根美代子

☎090-6489-0468

HP <https://twfc.jimdo.com>

活動場所：関東鉄道新取手駅から西部の公共施設など

活動種目：グラウンドゴルフ（2会場、林間コースも挑戦）、らくらく体操、バドミントン、パドルテニス、太極拳、ラージボール卓球（2会場、週2回）、ゆるヨガ、ウォーキング、カローリング、ゴールデンキッズ、トランポリン、いろいろ球技、音楽ケア体操（歌に合わせて楽しく介護予防）、新感覚フィットネス（映像でリズム良く！）



ホームページ

おすすめ!

貴重なトランポリン教室

小学生以上なら誰でも学べます。公認普及指導員が、けがをしないよう段階を踏み指導します。新技を覚える楽しさがあり、上達に応じてバッジテストを受けています。



トランポリン教室の皆さん

マネージャーから

一度体験してみて

子供向け教室が充実しています。運動が得意な子も苦手な子もクラブで楽しい時間を過ごしています。

高齢者も定期的に体を動かすことで、驚くほど元気になります。気になる種目があれば無料体験ができますので、お気軽にお問い合わせください。



中根美代子マネージャー

目指せ
初勝利!

5月29日(水) 0:00 ~ 21:00

チャレンジデー開催



〈問い合わせ先〉チャレンジデー実行委員会(健康づくり推進課内) ☎内線1221

チャレンジデーとは?

チャレンジデーはスポーツの習慣化や住民の健康増進、地域の活性化に向けたきっかけづくりを目的としたイベントです。毎年5月の最終水曜日に行われ、15分以上運動した人の参加率を同規模自治体と競います。

取手市は昨年(平成30年)に初参加。イベントをはじめ、自治会、企業など約3万人が参加しましたが米沢市(山形県)に敗戦。今回は初勝利を目指します。



企業



自治会



前回
参加者2万9,321人
(参加率27.2%)

対戦市: 米沢市
参加者 44,988人
参加率 55%

イベント



福祉施設



参加は15分以上運動し報告するだけ

運動は市内どこでも、一人でもオーケー

よくある質問

- Q: イベントに参加しないと報告できないの?
A: 当日市内で15分以上運動すれば報告できます。
- Q: 運動は何をすればいいの?
A: 散歩やラジオ体操など体を動かすものであれば何でもオーケーです。通勤通学も15分以上なら大丈夫。
※対戦市、当日イベント、参加方法は5月発行の広報とりででお知らせします

担当者に聞く

みんなの力が必要

勝負事なので、勝ちにこだわっていきたいと思います。そのための策を、何度も練ってきました。勝つためには皆さまの力が必要です。ご協力をお願いします。5月29日は楽しく運動して勝利を勝ち取りましょう。



検討部会イベント班
担当 山本宇類

平成31年
1/25~2/11開催

小中学校児童生徒作品展で聞く

休止間近のきらりで開かれた作品展に来場した市民の皆さんに、きらりの思い出や新ギャラリーへの期待を聞きました。

新ギャラリー楽しみ

市村はな乃さん（中央・永山小2年）ご家族



娘の絵が昨年に続き入選し、家族できらりに来ました。レベルの高い作品が多く、家族で話しながら鑑賞しました。

きらりがこの3月で休止し、今後ボックスヒル内に移ると聞きとても楽しみです。駅を利用する通勤客にも便利で、これまで以上に多くの人に見

てもらえると思います。今後、娘の作品が新ギャラリーに展示されるかもしれないと思うと楽しい気分になります。

家族の入選作を見るのが恒例

宮本春菜さん（前列右・永山小4年）ご家族



パソコンやスマートフォンの時代であればこそ、子供4人には書道習わせてきました。毎年誰かしらが入選し、家族みんなできらりに出掛けるのが恒例でした。やはり親子で行ける文化施設は大事ですね。

きらりの移転は寂しい気もしますが、一方でアートギャラリーは建物の入口から会場までの空間の演出も重要だと思っていました。ボックスヒル内なら格好の場所ですし、期待したいです。

明日へと繋ぐ特別展

入場無料



きらりの最終展示として、市が所蔵する貴重な作品71点を特別公開します。ぜひご来場ください。

◆3月9日（土）～18日（月）

午前10時～午後6時

※最終日は午後4時まで

◆平山郁夫のリトグラフほか、田中路人、寺田弘樹、田中良、松田朝旭、島田三郎、そのほか地元作家作品を多数展示

〈問い合わせ先〉文化芸術課

☎内線1292

ボックスヒル取手に移転 アートギャラリーきらり

「とりでアートギャラリーきらり」（以下「きらり」）は3月末で一時休止します。市は株式会社アトレと平成30年12月に、新ギャラリーをボックスヒル取手内に設置することで合意し、現在は実施設計を行っています。

宇田川ビルにオープンしました。以来、市民の芸術作品発表の場として利用され、30年12月末現在で26万1690人が来場しました。休止間近のきらりでは、小中学校児童生徒作品展が催され、多くの来場者でにぎわいました。最終展示は市所蔵作品展「明日へと繋ぐ特別展」を開催します（左下参照）。ぜひご覧ください。

きらりで9回目の写真展 萌黄の会の皆さんに聞く



萌黄の会の皆さん

私たちは、ゆうあいプラザを拠点に毎月1回の写真技術の勉強会と、春・秋の撮影会を行っています。

写真展は今年で17回目ですが、うち

9回はきらりを利用しています。きらりは会場も広く格安で、まさに市民のためのギャラリーであったと思います。来場者と触れ合える場として貴重な存在でした。

一方で会員も年齢を重ね、準備のため展示物を担いで階段を昇り降りすることに苦勞を感じていたのも事実。移転の話を聞いて一番うれしかったのは「エスカレーターやエレベーターがあるボックスヒルなら、展示物を運び易く友人も招待しやすくなる」ということでした。展覧会を新ギャラリーでも続けていきたいと思っています。